

## 《腎細胞がんの抗がん剤療法》

### 1 オプジーボ+ヤーボイ 1サイクル=21日間 予定4コース、その後オプジーボ単剤2週毎

催吐性リスク		最小度							
順	薬品名	投与量	肝	腎	経路(分)	1	2-21		
1	生理食塩液100mL	プライミング用				●			
2	㊦㊩オプジーボ 生理食塩液100mL	240 mg/body	軽度 不要	不要	div(30≤)	●	×	4コース後2週毎の維持治療へ	
3	生理食塩液100mL				div(15)	●			
4	㊪㊫ヤーボイ 生理食塩液20mL	1 mg/kg	軽度 不要	不要	div(30≤)	●	×		
5	生理食塩液100mL				div	●			

### 2 3週毎キイトルーダ+インライタ 1サイクル=21日間

催吐性リスク		最小度							
順	薬品名	投与量	肝	腎	経路(分)	1	2-21		
1	生理食塩液100mL	プライミング用				●			
2	㊬キイトルーダ 生理食塩液100mL	200 mg/body	軽度 不要	不要	div(30≤)	●	×		
3	生理食塩液100mL				div	●			
インライタ		5mg/回 × 2	中等 減量	CLcr ≥15 不要	内服	連日			

### 3 6週毎キイトルーダ+インライタ 1サイクル=42日間

催吐性リスク		最小度							
順	薬品名	投与量	肝	腎	経路(分)	1	2-42		
1	生理食塩液100mL	プライミング用			div	●			
2	㊬キイトルーダ 生理食塩液100mL	400 mg/body	軽度 不要	不要	div(30≤)	●	×		
3	生理食塩液100mL				div	●			
インライタ		5mg/回 × 2	中等 減量	CLcr ≥15 不要	内服	連日			

### 4 バベンチオ+インライタ 1サイクル=14日間

催吐性リスク		最小度							
順	薬品名	投与量	肝	腎	経路(分)	1	2-14		
1	生理食塩液100mL	プライミング用				●			
1	アセリオ500mg ボララミン5mg	抗アレ			div(15)	●			
2	㊭バベンチオ 生理食塩液250mL	10 mg/kg	記載 なし	記載 なし	div(60≤)	●	×		
3	生理食塩液100mL				div	●			
インライタ		5mg/回 × 2	中等 減量	CLcr ≥15 不要	内服	連日			

### 5 ヴォトリエント単剤療法

催吐性リスク		軽度							
薬品名(略名)	投与量	肝	腎	経路	1	2-7			
ヴォトリエント	800mg/body	必要	不要	内服(空腹時)	連日				

### 6 トーリセル単剤療法

催吐性リスク		最小度							
薬品名(略名)	投与量	肝	腎	経路	1	2-7			
㊮トーリセル	25mg/body	必要	不要	div(30-60)	●	×			

薬品名の印 ㊦ filter ㊨ hydration ㊰ premedication ㊲ route flush ㊴ supportive therapy ㊶ Time control ㊸ washout ㊺ vesicant drug.

\* 肝腎機能の項は、指標があるものは「必要」or「不要」、明瞭でないものは「考慮」or「不明」で表記。

無断転載禁止

7 2週毎オプジーボ単剤療法 1サイクル=14日間

催吐性リスク 最小度

順	薬品名(略名)	投与量	肝	腎	経路(分)	1	2-14
1	生理食塩液100mL				div	●	
2	㊶㊦オプジーボ 生理食塩液100mL	240 mg/body	軽度 不要	不要	div(30≤)	●	×
3	生理食塩液100mL				div	●	

8 4週毎オプジーボ単剤療法 1サイクル=28日間

催吐性リスク 最小度

順	薬品名(略名)	投与量	肝	腎	経路(分)	1	2-28
1	生理食塩液100mL				div	●	
2	㊶㊦オプジーボ 生理食塩液100mL	480 mg/body	軽度 不要	不要	div(30≤)	●	×
3	生理食塩液100mL				div	●	